

For the Next Generation

子どもたちの夢を、ソニーは応援します。



Sony Music Foundation
公益財団法人ソニー音楽財団

“100年に一人の天才ヴァイオリニスト”による、 子どもたちのためのコンサート

子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ Vol.10

10代のための
プレミアム・コンサート



マキシム・ヴェンゲーロフ

ヴァイオリンの 極み

マキシム・ヴェンゲーロフ (ヴァイオリン)

ヴァグ・パピアン (ピアノ)

N響メンバーによる弦楽合奏団

コンサートマスター：大宮臨太郎 (N響アシスタント・コンサートマスター)

特別出演：田中晶子 (ヴァイオリン)

2016年

5/23 (月)

18:30開演 (18:00開場)

文京シビックホール 大ホール

[全席指定・税込] ※未就学児の入場はできません。

10代* : S席 ¥2,500
A席 ¥1,500

*公演当日時点で小学校1年生～19歳の方が対象。
公演当日、年齢を確認させていただく場合がございます。

保護者** : S席 ¥4,000
A席 ¥2,500

**公演当日、保護者の方は10代券対象者と同時に
ご入場ください。

大人のみ*** : S席 ¥5,000

***10代券対象者を同伴せず、
大人のみで来場される方が対象。枚数限定。

団体割引あり ※詳しくはお問い合わせください

プレイガイド：イープラス eplus.jp / シビックチケット
(窓口販売のみ10時～19時)

チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999
(Pコード：289-681)



演奏曲目

詳細は裏面をご覧ください。

(ヴァイオリン+ピアノ)

フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調

(ヴァイオリン+弦楽合奏)

ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番

サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ

他

他

※曲目・出演者は変更となる場合がございます。

©Rikimaru Hotta

主催・お問い合わせ：Sony Music Foundation (公益財団法人ソニー音楽財団) 03-5227-5233 (平日10-18時) www.smf.or.jp

後援：文京区教育委員会 協賛：ソニー株式会社 / ソニー生命保険株式会社 / ソニー銀行株式会社 協力：Flagship Japan

10代のための プレミアム・コンサート



Sony Music Foundation
公益財団法人ソニー音楽財団

「10代のためのプレミアム・コンサート」は、『次世代の子どもたちに』『クオリティの高い音楽を』『特別価格で提供する』コンサートです。世界有数のクラシック・アーティストによる、通常のコンサートとは一味違う、10代向けに趣向を凝らした特別プログラム。
超一流の演奏を生で聴くことによって得られる感動を、感性豊かな10代の時に是非体験しませんか？

世界で活躍する“KING of VIOLIN”、マキシム・ヴェンゲーロフが日本の10代の子どもたちのために組んだスペシャル・プログラム！マキシム・ヴェンゲーロフ本人によるトークを聞けることも、このコンサートの魅力のひとつ。ピアノ伴奏、弦楽合奏など、一晩でヴァイオリンをたっぷりと楽しめる、最高の体験をお届けします。

マキシム・ヴェンゲーロフ

Maxim Vengerov, violin

グラミー賞アーティスト
ユニセフ国際親善大使

“100年に一人の天才ヴァイオリニスト”と称され、現在41歳ながら既に“今世紀の巨匠”とまで言われる偉大な音楽家。

1974年8月20日にロシア連邦西シベリア州のノヴォシビルスク近郊でオーボエ奏者の父と歌手・合唱団指揮者の母親の元に生まれ、4歳半からヴァイオリンを始めて6歳の時にベリオ作曲ヴァイオリン協奏曲でデビューし、同年リサイタルを開催。

10歳でヴェニエフスキ国際コンクール・ジュニア部門優勝。

13歳の時に初の海外公演として日本を訪れて(ゲルギエフが指揮者、ブロンが教師として同行)2種類のリサイタルとバガニーニ、ブルッフ、チャイコフスキーの3曲の協奏曲で合計12回の公演を遂行して日本中の音楽ファンを驚愕させた。

1990年にカール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクールで優勝して、一気に世界の檯舞台に登場し、以後はリサイタルとメジャーオーケストラとの協奏曲、そして最近では指揮者としても活動をしている。

CDはグラミー賞と多くのグラモフォン賞を受賞。

指揮としては多くの欧米とアジアの楽団に客演し、既にイギリスのオックスフォード交響楽団指揮者に就任し、オーストラリアのクイーンズランド交響楽団の首席客演指揮者にも就任予定。

23歳でクラシック音楽家初、及び最年少のユニセフ国際親善大使に任命されて子供たちのための慈善活動を続けている。

指導者としては英国王立音楽院特別教授「メニューイン・プロフェッサー」とスイスのメニューイン国際音楽アカデミー芸術監督の要職を務め、今年開催のヴェニエフスキ国際ヴァイオリン・コンクールでは前年に続き審査委員長を務める。

使用楽器は1727年製のストラディヴァリウス「クロイツェル」。

2013年に日本でスタートした「ヴェンゲーロフ・フェスティバル」は、リサイタル、協奏曲、指揮、マスタークラス、放送出演などを短期間に集中して開催する驚異的な内容であるが、このスタイルは海外でも広く知られており、毎年のフェスティバルの内容が世界中から注目されている。



©Rikimaru Hotta

ヴァグ・パピアン

Vag Papian, piano

ヴァグ・パピアンは、モスクワ音楽院でミハイル・ヴォスクレセンスキーに師事し、1979年のヴィアンナ・ダ・モッタ国際音楽コンクール(ポルトガル)で第2位入賞後、直ちに旧ソビエト連邦全域での活動をスタート。

その後、イリヤ・ムーシンの指揮科クラスに師事し、1984年にヴァレリー・ゲルギエフの招きによって、アルメニアフィルのアシスタント指揮者を務め、3年後には同楽団の芸術監督と首席指揮者に就任。

2005年からはイスラエル交響楽団への客演指揮を始め、指揮者・ピアニスト・或いはピアノ協奏曲の指揮とピアノの弾き振りでヨーロッパ、北米、南米、アジアでの精力的な活動を行い、日本では新日本フィルを指揮している。

ヴェンゲーロフのパートナーを長年務めており、リサイタルのピアニストと伴奏指揮者として全世界をツアーしている。現在、イスラエル南部のアシュドッド交響楽団指揮者、アルメニア国立歌劇場の首席客演指揮者、テルアビブのブッフマン＝メータ音楽院とサミュエル・ルービン音楽院の教授。



N響メンバーによる弦楽合奏団

String orchestra by the member of NHK Symphony Orchestra

名実ともに日本を代表するオーケストラ、NHK交響楽団の精鋭メンバーによる、一夜限りの弦楽合奏団。

ヴァイオリン：大宮臨太郎(コンサートマスター)、丹羽洋輔、高井敏弘、山岸 努、猶井悠樹、横溝耕一、宮川奈々
ヴィオラ：中村翔太郎、松井直之
チェロ：山内俊輔、村井 智
コントラバス：本間達朗

演奏曲目

(ヴァイオリン+ピアノ)

フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調

ラヴェル：ヴァイオリン・ソナタ ト長調

(ヴァイオリン+弦楽合奏)

チャイコフスキー：憂鬱なセレナード 変ロ短調 op.26

チャイコフスキー：「なつかしい土地の思い出」より

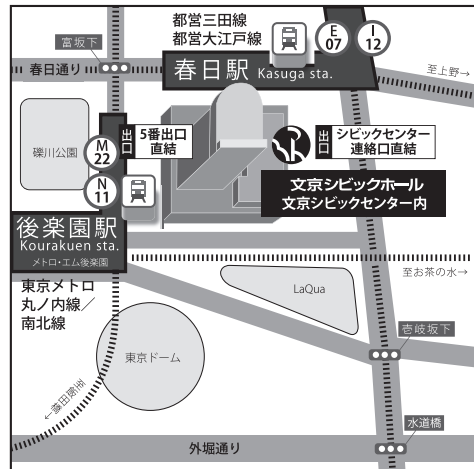
スケルツォ ハ短調 op.42-2

チャイコフスキー：ワルツ・スケルツォ ハ長調 op.34

サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ op.28

サラサーテ：ナバーラ op.33 (第2ヴァイオリン・ソロ：田中晶子)

ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番



Sony Music Foundation 主催公演のご紹介

Sony Music Foundation 東日本大震災復興支援プロジェクト

小中高 校生のための「第九」チャリティ・コンサート2016

2016年12月18日(日) すみだトリフォニーホール 大ホール(東京・錦糸町)



文京シビックホール

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21 文京シビックセンター内

・交通アクセス

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅【直結】

都営三田線・大江戸線「春日」駅【直結】

<http://bunkyoicivichall.jp/access/>